

「会計」

- ア 62年度監査報告に基づく基金の安定運用についての勧告に沿って、基金の一部を「株式型投資信託」から「国債型投資信託」に切り換えることについての提案が承認された。
- イ 「天気」の一般投稿（論文）について、投稿規定に投稿料を明示するよう「天気」編集委員会と協議することになった。
- ウ 外国人会員の会費、及び外国在住の通常会員の取扱について、庶務、会計担当理事で検討して行くこととなった。
- エ Papers in Meteorology and Geophysics については印刷部数を減らした上で継続することとなった。
- オ 気象庁内の書店で、学会の刊行物を販売してもらうことになった。

「気象集誌」

- ア 仕様変更について
- * 1989年2月号から印刷仕様を次のように改める。
 - ・印刷の種類 活版印刷を電子印刷に改める。
 - ・規格 B列5判, 9ポ横2段刷を
A列4判, 10ポ横2段刷に改める。
 - ・写真製版 活版写真及び凸版を

レーザ出力機による版下に改める。

- ・表紙のデザインを新しくする。
- イ 学会員以外の投稿の取扱について
 - * 投稿規定中「気象集誌は会員の寄稿による論文、要報をのせる」を会員のつぎに「および会員外の」を挿入する。
 - * ページ・チャージ規定に「会員外からの寄稿に対しては、一律に1印刷ページ500円の割増しページ・チャージを課する」を追加する。

「委員会」

第25期の各委員会の委員名簿が提出され承認された。

「会員の新規加入」

新規加入は、個人会員17名、退会1名が承認された。

「第2回理事会の議題」

- ア 理事長挨拶
- イ 各委員会報告
- ・気象集誌の印刷方式等について
 - ・大会における研究集会のあり方について
 - ・第14期気象学研究連絡委員会の委員について
 - ・国際学術交流基金の募金状況について
- ウ 昭和64年度の事業計画案・予算案について
- エ 藤原賞の規定変更について

編集後記：気象学の大气科学・地球環境学への発展に伴い、学会員の興味や関心が多様なものとなってきています。そのような状況に対応するべく「天気」は情報誌としての側面を強化してきました。しかし、情報面を強化すると、情報にふりまわされる、ということにもなり

かねません。今後はもう少し、論文を増やしてゆく方向に努力してゆく必要を感じています。少しゆっくりして、論文の一つでも書いてみることも、秋の夜長にはふさわしいと思いますので……………（A. S.）